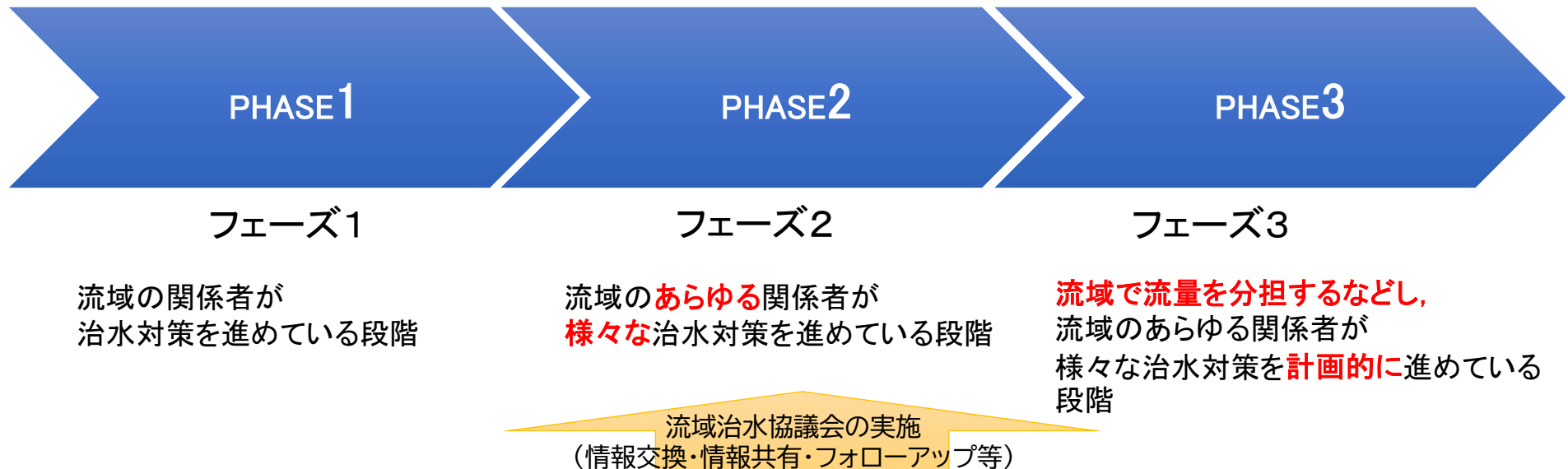


流域治水プロジェクトの充実に向けて

- 流域治水の進捗度を、「現在どのような段階にあるのか」を以下のとおり示すこととする。
- 一部水系を除き、基本的にはフェーズ1の段階とし、今後、各主体の取組内容の見える化、国等による各分野における支援制度や全国プロジェクトにおける取組事例等の情報共有、水害リスク情報の充実(河川管理者)、などを進めながら、流域治水協議会の実施において情報共有等を行い、新たな治水対策に取り組むための検討を進めるなどし、フェーズ2を目指していく。
- さらに、現況の水害リスクや近年発生した浸水被害状況などを踏まえ、必要に応じてフェーズ3を目指していく。



- 各主体の取組内容の見える化
 - 国等による各分野における支援制度や全国プロジェクトにおける取組事例等の情報共有
 - 水害リスク情報の充実
 - ・中小河川における洪水浸水想定区域図の作成【済】
 - ・降雨規模毎の多段階の洪水浸水想定区域図の作成
 - 流域住民の意識醸成
 - ・流域治水パンフレットの作成
- 等